

茂らえん。そうちのお正月はどう？ 今のは二日です。東

よあは一日も今も多分明日も晴天でしょう。青空で珍
らしいくらい空でした。でも夕方からは気温がうんと下
がる。朝は霜相が4ガ4です。

今二日。朝に貴君バリオニで買ってくれんベレー帽ニつと

沢子の白い帽子と栞印図鑑ニつ。セーター。おの年紙等

船便が着きました。(不足科百五十円はうかせられたけど。)

This space is also for correspondence.

マウミシががよく。二日夕方(客えんめところ) 紙くつり

ここにも通信文を記載することができます

だ、あのぞ、早速持ていった。山村氏も宮主のところに来
て、その抱ゆ圓鏡を移せし。よかつた。送るくれば、その
ことをして、いさめよう。おれ大分おかしな。と自らで思
つたけれど、どうもありがとう。
今では紀子は赤い着物をきていて。若々しいところ、青木氏の
小文子さんのうんやで（スパンビ）っていいきましな。
明日はお父さんはゴルフ。29日の暮に川行する。正月は早速です。
でも、社交性のなりが欠点なんだから、おしりして早く今の
月々の社会をやめて、なんだろうね。（牛乳も届いたよ。）
昨日は二日で、道志のところにオビーちゃんを連れてゆく。み
んなのおれをもろろ帰ったよ。さすが寒かった。明日は
は、健康へオビーちゃんを連れこく。
今年は何しろ。大改革の年である、とても緊張しています。
気があたま（ま）といふか、重たいことだよ。前の落着かない美
令もある。NHKも三十五年つとめた。その保証を誰れるわけ
なし。給料からいえば半額は半分になる。それは覚悟が
けど。――名古屋いやなく車太になった。足代、その他二世
帯にわかれ、自分の家が経済的だから。いつか、と隣人と思
つたりと、これも仕方がある。お父さんの停年、転勤。貴
君が帰ること、これはいそひ。うすい道をぬく。そ
れから家の改修等。みんな細くなる。そんな大工な
家建てで大丈夫かしら。なんて言われる。僕も今朝お父さん
にそんな事をいわたら、大丈夫だよ。なんていわれたわ。お
れ、昔には野村理事の家。一お父さんと本人同級、田中元
理事の家。清水さん家。それから新にカ島先生の家。と
お父さんの大学の同窓の家とあるんだけ。やつぱり裸で
彼の後継者にして、七キルにしに腕一本でやるまんお父さん
と大学の同級生達に負けてさげなくさるね。トント
いうもの、まあぐうぐいの家は建てるべきだと思う。そ
れにお父さんも、家相のいい家建てとしてやれ。おれは
いろいろにかろうというし。でも家の片は貴君が帰るそ
うだから、（プロパティ割りと直してあげたい）実際のところはか
るから、家族中の意見（五）を入れてよく考えて建てるよ。
お母さんあんまり。自らの部屋へらんまりとおさまるといいよ。
とこの頃はしらうちやうにいよいよなる。素直さあんは一月
末に金沢大学の大学院を受けて、多分入通るだろう。
――そして春には金沢へ帰るといっている。一家の中が一
大変革の時期なんだよ。今年はずっと皆に気力がな
くなり、――やはり病気が蔓延した。口にするが、

